単元名 2 新しい視点で －思考のレッスン1 意見と根拠 **配当時間** 1時間

単元の目標 (1) 原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。

標準的な展開例

10210110_001

学　習　活　動	留 意 事 項 な ど
1　意見と根拠を確認することの大切さを理解する。 o 学習の目標を知る。	・「導入」(p.52)の文章を読み，意見と根拠を確認することの大切さに気付かせる。
o 本時の学習課題をつかむ。 ★意見と根拠の結び付きを考えよう。 o 説得力のある根拠について考える。	・「生徒の意見」(p.52)の根拠についてどう思うか考えさせる。 ・説得力のある根拠について話し合わせてもよい。 ・「問題1」(p.52)に取り組ませ，説得力が弱いと感じるところを挙げさせ，何が問題かを考えさせる。 【評】説得力のある根拠について考える活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
o 意見と根拠の結び付きを考える。	・「生徒の意見」(p.53)について，意見と根拠をつなぐ考えを推測させる。 ・「問題2」(p.53)に取り組ませ，省略されている意見と根拠をつなぐ考えを推測させる。 【評】意見と根拠の結び付きを考える活動を通して，「知識・技能」を評価する。
o 本時の活動を振り返る。	

【　備　考　】
　中学校での本格的な国語学習として，このまとまりでは，説明文の読みや記録の仕方の工夫について練習するなどして，説明や記録の基本的な事項について考えていく。現行の学習指導要領の特徴の一つは表現の工夫を読み取ることにあり，そこに焦点化する最初の学習となる。展開の違う二つの文章を読むことを通して，表現の工夫に気付かせたい。
　また，好きなものを紹介する活動や情報の集め方を知る活動は，より広く多様なものの見方などに触れることができる。「情報社会を生きる」では，中学校での情報活用能力についての学習の基本として押さえておきたい。